

大事協だより

大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第 39 号
2012 年 12 月 17 日発行

2 学期もあっというまでしたね。
寒くなってきましたが、体調には気をつけて、年末年始乗り切りましょう！

<執行部より>

去る 10 月 25 日（木）に、本年度第 2 回理事会を大島支庁別館会議室にて開催しました。

協議内容については、活動経過報告・会計中間報告・第 1 回地区研修会アンケート集計結果・大事協だより第 37 号発行の反省・交流会反省・県事協評議員会（総代会報告）・第 7 次県費事務改善検討委員会報告・今後の活動計画・地区研修会研究発表に関する件について、話し合いました。

短い時間の中、各市町村理事の皆様、ありがとうございました。

また、旅費・第 2 回地区事務研アンケート集約等、年末の忙しい中、御協力ありがとうございました。

来年度以降の大島地区小・中学校事務職員研修会における研修の持ち方について、各市町村ごとの考えをまとめて頂けたらと思います。

次回の理事会では、意見集約し確認・報告したいと思います。

よろしくをお願いします。

○大事協は次のような意義のもと
設立・活動しています○
○御確認をお願いします○

<協会設立の基本理念に則り、
更なる発展を目指して活動する。>

- ①大島地区小・中学校事務職員全員参加の「輪（わ）」を目標とする。
- ②本会は、地区内の緩やかな繋がりを親睦・融和・資質向上を目指す。
- ③大島地区内における情報交換の場とする。
- ④実務研修の充実を図る。



<各地区からのお便り>

今回の原稿は、①伊仙町②奄美市笠利ブロック③大和村④龍郷町からいただきました。ありがとうございました。

①伊仙町事務職員研修会

こんにちは、伊仙町事務職員会です。

私たちの勤める伊仙町は、町制施行 50 周年という大変めでたい年であり、ますますの発展の兆しを見せています。そんな伊仙町に負けないよう、伊仙町事務職員研修会は日々努力を続けています。

私たちの研修会は、九人のメンバーで構成されており、ベテラン事務職員から、新規採用の新米事務職員まで幅広い年齢層で構成されています。

研修内容は、ベテラン事務職員の知識・経験を踏まえた深い内容から、新米事務職員の日々の業務の中でわき出た疑問など幅広く扱っています。中でも今年度は、来年度から共同実施を始動するための準備にも取りかかっており、研修テーマとして『学校事務及び学校運営における共同実施のあり方』を掲げ、毎回の研修において必ず議題として共同実施を取り上げ、皆で知識を深めながら、現在の進捗状況やこれからの研修会の動きを周知徹底しています。

伊仙町事務職員会は共同実施に向けて大きく動いています。町教育委員会と話し合いを進め運営規定・計画を報告し、執務室も用意されました。年が明ければ試行期間が設けられ、実際に伊仙町の共同実施が動く可能性も示唆されました。正直なところ当初は、共同実施という大きな流れに、年若い事務職員は翻弄されている感がありました。しかし、先輩事務職員の指導と大きなリーダーシップにより研修会を重ねる毎にそれは払拭され、共同実施への志気を皆が高めています。まだまだ本格実施までには、いろいろな問題が上がると思います。ですが、皆と一緒になら大丈夫、そんな風に思うことができるのが伊仙町事務職員会です。

～新規採用者の声～

伊仙町立面縄小学校 宮下 英貴

初めまして、伊仙町立面縄小学校事務職員の宮下英貴と申します。

4 月に面縄小学校に新採として赴任して、そして徳之島に来て、早くも半年が経ちました。今振り返ると本当にあっという間でした。4 月は新しい仕事や新しい環境に慣れるのに必死で、5、6 月は「五月病」に悩まされ、7 月は学期末の業務に追われ、8 月は夏休みに東京で羽を伸ばし、9 月は運動会準備に追われると同時に、大型台風襲われ、10 月は新採研修にて同期職員からたくさん刺激を受けたり、地区事務研では初めての年末調整に戸惑いを感じたり、、、と、大変内容の濃い半年間だったように思います。

その半年の中で私が事務職員という仕事に関して感じたことは、+αの仕事がいかに大切かということです。給与、旅費、手当認定といった事務職員の基本の業務はもちろんですが、学校という職場の中でどれだけ気を配って動けるかという+αが大変重要であるように思います。今はまだ自分の仕事のスタイルが確立できていないため、なかなか視野を広げて仕事できていない状況ですが、今後は職場環境や他の先生方の業務、児童の様子等にも目を向けながら+αの仕事に磨きをかけていきたいです。

まだまだ不慣れで未熟な私ですが、先生方今後ともご指導よろしくお願ひいたします。

②奄美市笠利ブロック事務職員会

みなさん、こんにちは。笠利ブロック事務職員会です。笠利町は奄美大島の北部、珊瑚礁に囲まれた穏やかな海とサトウキビ畑が広がるなだらかな丘陵地帯です。また、空港所在地なので、勤務終了後に鹿児島へ飛ぶことも可能です。

笠利ブロック事務職員会の構成は、男性3名女性4名・20代から50代までの計7名です。

さて、みなさんご承知のとおり、奄美市ではH24年度から与論町に続いて「学校事務の共同実施」が導入されました。市内を4つに分けて、笠利・西部・東部「支援室」と住用「支援準備室」としてスタートしました。それぞれの支援（準備）室が独自性を持って活動しています。

笠利地区事務支援室の活動は、月3回・第1～第3水曜日14:00～16:45を基本形とし、赤木名中学校を執務室としています。諸手当認定事務、各業務分担係からの計画・報告、支援室だより「シャリンバイ」の発行、「笠利町版事務の手引き」の改訂、連携校からの課題とアドバイス、各種研修の推進、相互点検・教育支援等の実施に向けた検討等を行っています。

歩みはゆっくりですが、先進地である薩摩川内市等を手本にしながら大島地区的な「学校事務の共同実施」を模索していきたいと思っています。

今後とも笠利ブロック事務職員会をよろしくお願ひします。



③大和村事務職員会

大和村立大柵小学校・事務職員 加藤 真吾

こんにちは、大和村事務職員会です。

大和村は耕地面積は少ないですが、自然条件・地形条件等を活かして、すももやたんかんなどの農産物を作っています。ある小学校では、すももジュースやゼリー、ジャムなどを作る体験学習を授業に取り入れています。すごくおいしいみたいです。また、国内で初めてサトウキビの作付けを行った地でもあり・・・と、食べ物の話はこれぐらいにして、大和村の事務職員会の紹介をします。

会の構成は、名音小学校の播磨先生、大和小学校の永綱先生、大柵小学校の加藤の3名となっております。男3人ということもあり、昨年度からのメンバーということもあり、また、平均年齢28歳という若者の集団であることもあり、本音トークを平然といいながら、和気あいあいと活動を行っています。

本年度わたしたちは、共同実施の効果的な運営に向けての研修をテーマに取り組んでいます。大和村では、今年10月から共同実施が始まりました。拠点校である大柵小学校で月に2回、半日開催で行っています。共同実施ですが、3人しかいないため、代表者（諸手当認定・総務）、研修（研修推進・資料管理）、渉外（書記・企画・広報）をそれぞれが担当しています。まだまだわからないことが数多くあるため、他の市町村の先生方の力をお借りしながら、また、個々が鍛錬を行いながら、少しずつ前進しています。

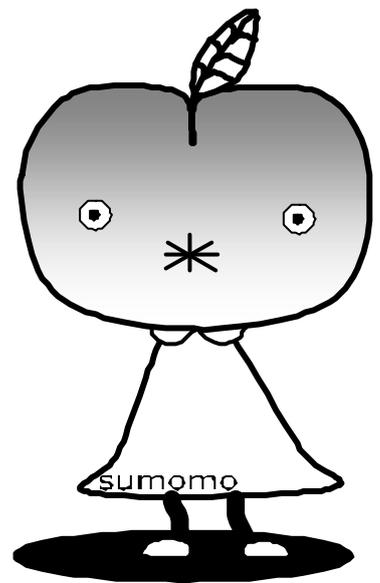
私自身もまだまだ未熟者ではありますが、精一杯努力しますので、これからも大和村事務職員会をよろしくお願ひします。

④龍郷町事務職員部会

こんにちは。龍郷町事務職員部会です♪構成員は8名、ここ2年ほど部長以外全員女性という状態でしたが、今年度部長念願の(?)男性会員が2名入りました。そのうち1名が(新規採用の方だったのですが)釣り好きな方で、本業が「漁師」の部長は大変喜んでおります。仕事より釣りの研修会をしていることが多いような・・・いや冗談です。

昨年度までとはまた少し違った雰囲気になりましたが、相変わらず楽しく、同時に真剣に研修会等を行っています。

ちなみに全体研修会を行っているのは(概ね)



ここ。龍郷町中央公民館です。



現在改修が計画されているとのこと。綺麗になるのが楽しみです。(その間どこで研修会を行うかは・・・まだ考えておりませんが^^);

研修会の内容は、手当関係、予算関係、そして共同実施関係が中心です。特に共同実施関係は今年度2名の担当者を決め、力を注いでいます。龍郷町では、まだ具体的な話はないものの、「イザ！」という時が来たら、研修の成果を十分に発揮したいものだなあと感じています。(文責：龍郷小学校事務職員 崎坂)

～新規採用者の声～

「 半年間を振り返って 」

龍郷町立円小学校 内田 梨奈

円小学校に赴任して半年が経ちました。年度当初は、わからないことだらけで近隣校の先生方に毎日のように電話をかけていました。お忙しい中、学校に来てくださることもありました。丁寧な指導をしていただき感謝の気持ちでいっぱいです。

4月は、自分の仕事に精一杯でなかなか他の仕事に手がまわらず、子どもたちともほとんど関わることが出来ませんでした。きっと、話しかけづらかっただろうなあ…と思います。

半年が経った今では、子どもたちと遊ぶ時間も増え、先日は子どもたちに誘われて、学校の裏山にある”円グスク”と呼ばれる円集落が一望できる場所に登ってきました。



4月に比べるととても充実した毎日の送ることができています。(専ら最近はうさぎの世話に追われていますが…)

今年度も残りわずか、少しでも多くのことを吸収できるように職務に励みたいと思います。

龍郷町立龍瀬小学校 上崎 暁人

龍瀬小学校に赴任して早くも7ヶ月が経ちました。思い返してみると、赴任先を初めて聞いたのは船の上でした。船釣りをしている最中に母から電話があり、通知が届いて龍郷町だったという事を知らされました。期待が膨らむ反面、初めての社会人生活や一人暮らしへの不安を抱いたのを覚えています。

着任してからはとにかく訳が分からず、自分が何をすれば良いのか、何をしているのか、何をしたのかも分からないまま、月日だけが過ぎていったように思います。そんな中、精一杯サポートして下さった先輩方にはとても感謝しています。

龍郷町の部会の雰囲気は和気藹々としており、毎回楽しく勉強させて頂いています。非常に研修熱心で、昼だけでなく夜の研修も充実しています。最初はその多さに戸惑いもありましたが・・・。最近は慣れてきました。さらに、釣りの研修までもして頂き、まだ良い釣果には恵まれていませんが、これから猛勉強していきたいと思います。もちろん、仕事もです。

最後になりましたが、今人とのつながりを感じながら仕事をしています。先輩方や事務所の方々、先生方、子どもたち。自分のしている仕事は、どこかで人とつながっており、人に返ってくると感じています。パソコンや書面と向き合うことが多い仕事ですが、その先には人がいるということをお忘れずに、これから頑張っていきたいと思います。



○編集後記○

今回は、知名町が中心となり、原稿集約・編集して頂きました。年末調整書類作成等お忙しい中、ありがとうございました。

次号は、来年2月発行予定です。

編集担当市町村は、和泊町です。原稿提出市町村は、①徳之島町②喜界町③与論町④奄美市住用ブロックとなっています。

よろしくお祈りします。

引き続き、いろいろな原稿もお待ちしています。冬休み中の写真や出来事等ありましたら、送って頂けたら、嬉しいです。

送り先： itsubu-e@city.amami.lg.jp

伊津部小学校・藤崎まで☆

いろいろなことがあった今年でしたが、また、新しい年に向けて、頑張っていきたいと思います！！

